

November
2014

The Record

vol.660

日本全国音楽のまち～静岡編～

「映画盗撮防止キャンペーン NO MORE映画泥棒」

第4弾CMが上映開始



<http://www.riaj.or.jp/lmark/>



Contents

Monthly News Digest..... 1

特集

日本全国音楽のまち～静岡編～..... 3

特報

「映画盗撮防止キャンペーン NO MORE
映画泥棒」第4弾 CM が上映開始..... 10

「オーディオ・ホームシアター展 2014」開催
国立国会図書館「SP盤のデジタル化音源」を
ブースにて紹介..... 11

インターンシップ実習生受け入れ..... 11

ヒットの裏側..... 12

Monthly Production Report..... 13

GOLD DISC..... 14

9/18

CODAトレーニングセミナー in成都開催

9月18日、中国・成都市の成都世紀城新国際コンベンションセンター（Intercontinental Century City Convention Center Chengdu）の芙蓉の間において、IFPI（国際レコード産業連盟）と一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）が共催する合同トレーニングセミナー「オンライン上におけるビジネスモデルと実務研究会」が開催された。当協会からは著作権・契約部 楠本部長が出席し、「ネットワーク上の音楽に関する著作権侵害の現状と対策」と題した講演を行い、ネットワーク上の違法の実態およびその対応、中国動画サイトの現状等について説明した。さらに、CODA、SME-China の他、9名のサイト事業者や著作権を専門とする中国の大学教授がそれぞれ講演を行った後、質疑応答、フリーディスカッションを経て閉会となった。

なお、今回のトレーニングセミナーは、9月15日～20日の日程で同じく中国・成都市で行われた中国国家版權博覧会にあわせての開催であったため、中国国家版權局の幹部や、多くのインターネット関連事業者が出席する盛大なものとなった。

IFPI と CODA は共同で、中国（台



湾を含む）・香港をはじめとするアジア地区の行政、裁判所、検察、公安、警察、税関等の職員を対象に、著作権啓蒙・啓発を目的としたトレーニングセミナーを実施している。

9/25

英国レコード使用料徴収団体 PPL来協

9月25日、イギリスのレコード使用料徴収団体 Phonographic Performance Limited (PPL) のピーター・リーサム最高経営責任者とローレンス・オクセンバリー国際部長の2名が来協し、日英のレコード市場やレコード使用料徴収実務について、当協会と情報交換を行った。

PPL は、レコード製作者と実演家の立場で、イギリス国内の放送・演奏使用料を管理している団体であり、2003年に当協会と放送二次使用料等の相互管理協定を締結している。

今回の来協に際しては、当協会 畑理事・事務局長と著作権・契約部職員が対応。PPLからは、デジタルビジネスに係るレコード使用料や貸レコードの仕組み、全曲報告に基づく放送二次使用料の実績分配等について積極的に質問がなされた。

9/25

文化芸術推進フォーラム開催

9月25日、東京都千代田区の衆議院第2議員会館にて、文化芸術振興議員連盟・文化芸術推進フォーラム主催によるフォーラム『デジタル時代、芸術作品の利用形態の変化と著作権をめぐって』が開催された。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

当日は、横山眞司氏（公益社団法人著作権情報センター附属著作権研究所 専任研究員）より「私的録音録画に関する実態調査」に関する報告がなされた。さらに、椎名和夫氏（公益社団法人日本芸能実演家団体協議会常務理事）より「環境変化がもたらすもの」と題し、私的録音・録画補償金制度の抱える課題と、それらを取り巻く現状について報告がなされた。

これらの報告を受け、意見交換では今後の補償金制度のあり方や、著作権教育の必要性などについて活発な議論が行われた。



10/7

当協会 斉藤会長・明治学院大学寄附講座にて講義

10月7日、東京都港区の明治学院大学で開講された当協会主催の寄附講座「クリエイティブビジネスと著作権」において、当協会 斉藤会長が「レコード産業の構図と現状」をテーマに講義を行った。

講義では、日本のレコード産業の歴史や、国内外の市場規模・状況を説明。さらに今後のレコード産業の展望や、当協会の施策について事例を踏まえながら紹介した。当日は約300名の生徒が出席し、熱心に講義に耳を傾けた。

質疑応答では、「CDに代わる次のデータメディアの出現・普及の可能性

はあるか」「ボーカロイドや同人音楽などの新たな音楽文化をどうとらえているか」など多数の質問が寄せられ、今後のレコード業界の動向や、新たな音楽市場に対する関心の高さがうかがえた。



RIAJ2014年10月度理事会議案

■ 審議事項

1. オンラインプロモーション実証実験費用を予備費から拠出する件
2. 音楽 Blu-ray Disc カタログ製作費用の一部を需要拡大施策予備費より支出する件
3. 新会員社入会について (株) SDR

■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件
 - (1) AAA 運営事務局「AAA (Act Against AIDS) 2014 年度」後援名義使用および協賛金依頼
2. 平成 26 年度上半期重点施策および予算執行状況について
3. 法制委員会関係報告
 - (1) 教育・文化・プライダルにおけるレコードの集中管理事業報告
 - (2) TUBEFIRE 訴訟経過報告
 - (3) 文化庁「著作物等の適切な保護と利用・流通に関する小委員会」報告
4. 著作権保護・促進センター (CPPC) 関係報告
 - (1) CPPC 平成 26 年 9 月度・上半期活動報告
 - (2) インターネット広告推進協議会 (JIAA) 申入文書報告
5. デジタル委員会関係報告
 - (1) デジタルビジネス部会報告
6. マーケティング委員会関係報告
 - (1) レンタル問題協議会進捗状況報告
7. ComingNext 実行委員会関係報告
 - (1) ComingNext2015 の概要について
8. 海外市場拡大委員会関係報告
 - (1) 第 11 回東京国際ミュージックマーケット (TIMM) 報告
9. その他報告
 - (1) IFPI 中央理事会 (11/5) について

●●● 会員社のお知らせ ●●●

■ 新入会 (11月1日付)

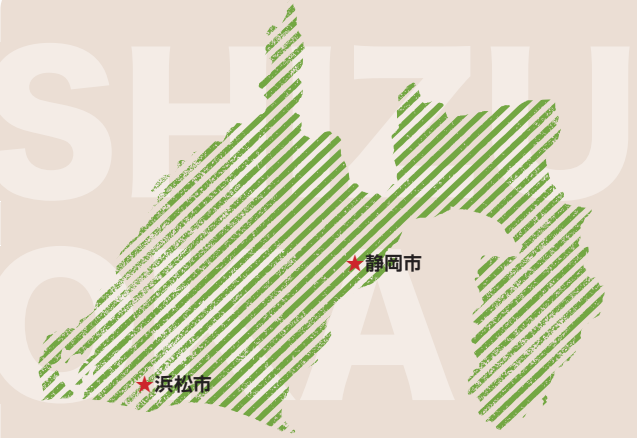
社 名：株式会社 SDR (準会員)
 代 表：代表取締役 細野 義朗
 住 所：東京都渋谷区恵比寿西2-3-12
 恵比寿オークビル3F
 電話番号：03-5457-1277(代表)

日本全国音楽のまち ～静岡編～

ウィーン、ライブツィヒ、ニューオリンズ、グラスゴー……。『音楽のまち』と耳にして、最初に思い浮かべるのは、どのまちの名前だろうか。そして、どんなまちの風景を想像するだろうか。例えば、日々の暮らしの中から、その土地で生まれ、育まれた音楽があるまち。住む人、訪れる人が気軽に音楽を楽しむことができるまち。通りを歩けばどこからか、音楽が聴こえてくるまち。『音楽のまち』といっても、そのイメージは多様だ。

近年、18年連続で東京圏への転入が超過するなど、東京へのヒト・モノ・カネの一極集中が問題視されている。一方、多くの地方自治体では人口が減少し、産業・地域活動の担い手が不足するなど、少子高齢化および過疎化が悪循環化するといった課題を抱えている。このような課題を解決するため、多くの自治体が地域おこし・まちづくりに取り組んでいる中、まちづくりに『音楽』の要素を取り入れた事例も見られる。

今回の特集では、こうした『音楽によるまちづくり』を行う地域を取り上げ、その第1回として浜松市を中心に、静岡県にフォーカスする。浜松市は国内有数の楽器メーカーが複数あり、古くから市民が楽器や音楽に親しむ土地柄である。さらに、1981年の市の基本計画に『音楽のまちづくり』の推進が掲げられるなど、まちづくりに音楽の要素を取り入れた自治体の先駆けであると言える。今回は、そんな静岡県で地域を愛し、音楽を愛する人々や、ユニークな施設、事例を紹介する。



県庁所在地：静岡市 面積：7,780.42平方キロメートル
人口：約376.5万人（2010年国勢調査・都道府県別第10位）

★静岡県のこんな日本★

- 出身Jリーガー数（2014年Jリーグ・クラブ選手名鑑）
- 緑茶の消費量（2009年 総務省家計調査）
 - ※ 同年同調査における**コーヒー消費量**は全国**ワースト2位**。
お茶の名産地だけあって、圧倒的に緑茶党が多い？
- CD・DVDなど教養娯楽品の年間支出金額
（2011～2013年平均 総務省家計調査・都道府県庁所在地および政令指定都市別）
 - ※ **1位は浜松市（9,242円）**、**2位は静岡市（8,952円）**と静岡県が見事ワンツーフィニッシュ！





Interview

やらまいかミュージックフェスティバル実行委員会

代表役員（事業・企画連携） 杉山 治一 氏（右）

代表役員（広報担当） 清水 和宏 氏（左）

代表役員（総務担当） 大木 由美子 氏（中央）



「音楽のまち」を活気づける、市民の手作り音楽祭 ～やらまいかミュージックフェスティバル in はままつ～

浜松に育まれた音楽文化をベースに

今年で第8回を迎えた「やらまいかミュージックフェスティバル in はままつ」（通称：やらフェス）。市民が手作りで企画・運営する音楽祭で、浜松の秋の風物詩の一つとなってきた。多様なジャンルの出演者を全国から公募、2日間のイベントのうちに浜松市街あちこちに設けられたステージで演奏してもらい、出演者と観客、そして運営スタッフが、ともに音楽を心ゆくまで楽しむ、というものだ。

やらフェスはどのように始まったのか。運営スタッフとして事業・企画連携を担う杉山治一氏は、こう切り出した。

「ベースには、浜松が培ってきた楽器の文化、それを背景に育まれた音楽文化があります。」

楽器メーカーの林立する浜松は、当然、楽器を使う場も多い。吹奏楽も盛んで、社会人バンドの数は市内だけで20以上あるという。広報を担当する清水和宏氏も、社会人バンドで指揮者として活躍する一人。力を込めてこう語る。

「学校で吹奏楽をやってきた子どもたちが、長く続けられる環境がありますね。また楽器メーカーに勤務する人たちが、音楽活動に取り組むケースもたくさんあります。市民の中に、音楽に親しむ人が多いんですよ。」

ピアノやオペラのコンクールをはじめ、国際的な音楽祭も数多く催され、市民の耳も肥えている。音楽文化の裾野の広い浜松だが、やらフェス以前には、市民がプレイヤーとして参加できる音楽祭は、あまりなかったようだ。

「私個人は、音楽と深く関わっていなかったんです。浜松商工会議所の地域ブランド創出委員会に携わったとき、浜松の音楽文化を地域活性化にもっと生かせないかと、音楽畑の人たちと話をすることができたんです。すると「市民が主役になる音楽祭をやろうよ」と、周辺のいろんな人から声が上がリ、盛り上がっていきました。」（杉山氏）

もともと環境のあったところに、一つのきっかけから市民の思いに火が付いて、そこからは早かった。総務担当の大木由美子氏は、こう回想する。

「子どもの頃にエレクトーン教室に通っていました。浜松ではそれが当たり前なんですよ。音楽に親しみがある。といって、自分

が出演する側になることは考えませんでした。でも皆さんの盛り上がりを見るうちに、何か手伝えたいなと思い、参加したんです。」

浜松周辺の遠州の言葉『やらまいか』は『やろうじゃないか』という意味である。音楽祭にはこの言葉が冠された。

「私たち遠州人の気質は、まさに『やらまいか』。当初は十分準備してからとの話も出ましたが、とにかくやってみようと、委員会設立一年目から、一気に突っ走りました。立ち上げの苦労もありましたが、勢いで乗り切った感じです。」（大木氏）

手弁当のスタッフと出演者、 観客がともに作るイベントへ

第1回に132組（約880人）を集めた出演者は、毎年伸び続け、昨年の第7回で倍以上の294組（約1,220人）を数えるまでとなった。

「ロック、ポップスの他、フォークやフュージョン、ジャズ、さらには長唄や相撲甚句などの純邦楽、ワールドミュージックと、オールジャンルに広がっています。」（清水氏）

企業・個人協賛の他、出演者に一人2,000円の運営協力費を出してもらい、運営費に充てる。『2,000円で観客の前での演奏を楽しんで』という考え方だ。募金や事業寄付金（グッズなど販売）も重要な収入源となる。スタッフは皆ボランティア。仕事の合間を縫って協力している。

「皆が手弁当で集まっています。苦労を買って出る方がいるのが本当に有難い。その分、手作りのイベントとして、成長してきた実感があります。最近では出演者の中から「MCやPAの手伝いをしたい」とボランティアに手を挙げる人も増えて、嬉しい限りです。」（大木氏）

運営側と出演者の距離が近いのも特徴的だ。地域社会にも確実に浸透してきた。

「数年前から、やらフェスを利用して、地元の皆さんにも元気になってほしい、という思いから「やらフェス応援フェア」の活動を始めました。地元の飲食店・商店にタイアップのサービスをご提供いただき、商店街の活性化を図るものですが、店舗数も徐々に伸びています。」（清水氏）

思いがけない効果もあった。

「長野県出身のお客様が、たまやらフェスで、同じく長野県出身の出演者を見つけて応援したのをきっかけに、県人会のような集まりができたという話を伺いました。地域に新しいコミュニケーションが生まれ、予想外の喜びがあります。」(杉山氏)

耳の肥えた浜松市民は、ステージへの要求度も高い。主催者には、演奏環境も聴く環境も整えることが求められる。「どの会場にもパイプ椅子を用意し、ゆっくり聴いていただけるよう配慮しています。」(清水氏)
浜松では、それがごく当たり前のことである。



やらフェス応援店には「音楽愛好家の皆さんを応援していきます」というのぼりが掲げられている。

夢を持ち続けて、取り組んでいく

出演者の多くはアマチュアだが、中にはプロとして活動する人もいる。

「全国から集まる中には、プロ活動をなさる方もいますが、私たちにはわからない場合も多い。分け隔てせず、条件に合う方ならどなたでも受け入れています。」(杉山氏)

2,000円を払って、観客と一緒に音楽を楽しむ。プロのミュージシャンにとってはある意味、アマチュアに戻れる場、原点を見つめる場になるのかもしれない。

「今、出演して満足するだけじゃないイベントにできないかと考えています。やらフェスから飛び出して、ステップアップすることもあるといい。」(大木氏)

「親心じゃないですけど、夢を持ち続けて、ここからメジャーデビューするミュージシャンが出て、折々にやらフェスに帰ってきてもらえたら、と思います。出演者と運営側がともに幸せを見つけていけるイベントとして成長させたいところです。」(清水氏)

未来を担う若い人の参加の場を広げようと、昨年「U-18ステージ」も設けている。

「吹奏楽と比べると発表の場が少ない、軽音楽部のためのイベントなども用意しています。浜松から静岡、いずれ全国へつながるようなものへ、最初の芽を育てていきたいですね。」(清水氏)

やらフェスは今後、浜松ならではの個性を、より追求しようとしている。杉山氏は、こう締めくくった。

「手作りの市民音楽祭として、積み重ねができてきました。今まで企業に頼ることなくやってきましたが、これからは『企業市民』として参加いただく方向も考えています。たとえば、地元の楽器メーカーの協力を受けて、楽器や最新の音楽機器に触れたりする催しを充実させることで、音楽のまち・浜松の特色を出していけるんじゃないかと構想しています。」

「第8回 やらまいかミュージックフェスティバル in はままつ」当日レポート

10月11日、12日の2日間、静岡県浜松市にて「第8回やらまいかミュージックフェスティバル in はままつ」(以下、やらフェス)が開催された。今回で8回目となったやらフェスには、過去最多となる365組から出演の応募が寄せられ、選考の結果、2日間で301組・24ステージの出演となった。

11日(土)、浜松駅を降り立つと、駅前には既にやらフェスのオレンジ色ののぼりが立ち並び、準備中の屋台からは静岡で当地B級グルメ・富士宮焼きそばの香りが漂っていた。のぼりと同じオレンジ色のジャンパーを着た多くのスタッフが、機材のチェックや出演者の受付などで慌しく動いており、これからフェスが始まる、という気分が高まってきた。台風19号の影響が懸念されていたが、この日は幸運にも秋晴れに恵まれた一日となった。

午前11時過ぎ、オープニングステージは、浜松駅前「キタラ」と、遠鉄百貨店脇の「ソラモ」の2会場で開催。うち「キタラ」には、浜松市立篠原中学校吹奏楽部が出演し、清々しい演奏で幕開けを飾った。篠原中学校は、中部日本吹奏楽コンクール静岡県大会で優勝するなどの実績を積み重ねており、周囲からは「今の中学生の吹奏楽部ってこんなにレベルが高いの?」という声が聞こえてきた。吹奏楽のスタンダードナンバーに加え、ディズニーメドレーや、かわいらしい一年生のダンスとともにSMAPの「JOY」などのポップスを披露。

さらに10月18日から開催される「ハママツ・ジャズ・ウィーク」への参加に先駆け、ソロパートとセッションの緩急が楽しい、ジャズナンバーも披露した。



キタラでの篠原中の演奏。オープニングから多くの人立ち並んだ。

● 当日の各会場の様子の一部

浜松市内のあちこちに設けられたステージでは、一日中、様々な音楽に出会うことができた。ここに挙げたのはほんの一部であるが、会場の雰囲気だけでも味わっていただければ幸いである。



遠鉄百貨店協「ソラモ」会場はアコースティック中心の編成。じっくりと腰を据えて聴く人が多かった。



バスターミナル地下会場。弾き語りを中心の編成。地元・浜松だけではなく、東京や名古屋、群馬など全国から実力派が参加。



ザザシティ中央広場では、静岡県高校軽音楽大会プレイベントと、やらフェスU-18ステージを開催。ひときわ若い才能たちが集結した。



大通り沿いの旧松菱前では、力強いサウンドのバンドが目立った。窓を開けて様子を見ていた信号待ちの車も。



静岡銀行1Fホール「アゴラ」では、ゆったりとした屋内で美しいアカペラや、フォーク、三味線などの多彩なジャンルに触れることができた。



静岡FM放送「K-Mix」会場。ロックやパンクなどのバンドが中心となった編成。アットホームな雰囲気、会場一体となって盛り上がった。



2日目・フィナーレに向かって、多くの観客で盛り上がる浜松駅前「キタラ」。



遠鉄百貨店本館屋上では、ロックやジャズなどの演奏を、美しい空の色とともに楽しむことができた。

● 体験コーナーやワークショップも開催

遠鉄百貨店協の会場「ソラモ」では、ステージの他、体験コーナーも展開。スピネットチェンバロやハンマーダルシマーといった珍しい楽器に、実際に触れることができた。また、手作りバイオリンを演奏できるコーナーでは、スタッフの方のレクチャーにより、バイオリン初挑戦の筆者でも「キラキラ星」をなんとか演奏することができた。さらに、楽器を手作りできるワークショップも開催されており、楽しそうにカスタネットの彩色に取り組む親子連れの姿などが見られた。

今回やらフェスに参加してまず驚いたのは、2日間で301組・24ステージというボリュームだ。出演者は、静岡県内のみならず、様々な地域から集まっており、関西、関東からの参加も珍しくない。さらに、ロックやジャズ、フュージョンなど音楽のジャンルも多様だ。こうした様々な出演者の編成を行い、スムーズにステージを行うのは決して簡単なことではない。しかしスタッフが丸となって、演奏する人も、観客も心地よくあってほしいという信念のもと、安全で清潔なフェスを作り上げていた。

リズムに合わせて体を動かす人、歌と一緒に口ずさむ人、思わず足を止めて聴き入る人、演者と観客が一体になる瞬間——。浜松の街中が音楽であふれるやらフェスでは、そんな光景をいくつも目にすることができた。



● やらまいかミュージックフェスティバル in はままつ <http://yaramaika-mfes.com>



Introduction

イケヤ 浜松メイワン店

静岡県を中心に展開する「イケヤ」は明治43年に創業した老舗のCD・DVDショップ。各店舗がそれぞれの顧客層に合わせ、個性を活かした店作りに努め、地元の顧客に長く愛されている。今回は、浜松メイワン店の店長を務める小山氏に、最近の店作りの状況や、静岡の音楽シーンについて伺った。



イケヤ 浜松メイワン店

静岡県浜松市中区砂山町6-1 JR浜松駅ビル6F
営業時間：10:00～20:00

- お客様の層について教えてください。

浜松駅の駅ビルという立地のためか、10～20代の学生、そして30～40代以上のサラリーマンの方が中心です。浜松のお客様はシャイな方が多い、と言われていていますね。ライブなどを見ている、例えば愛知の会場と浜松の会場だと反応が違いますね。

静岡は車社会なので車の中で聴くユーロビートなども人気があります。昔から浜松はダンスミュージックが人気とも言われていますね。

- 店内のあちこちに飾られた、楽器をかたどったディスプレイが目を引きます。

以前はサイン色紙を飾っていたんですが、増えるにつれ、ラーメン屋みたいになってきて（笑）。浜松出身のアーティスト、小林太郎くんの作品に、ギターが印象的なCDジャケットがあり、そのデザインに合わせて作ったのがきっかけです。実際にアーティストが使っている楽器の写真をボードに仕立てて、浜松にアーティストがいらした時などにサインを入れてもらっています。楽器にこだわりのあるアーティストは多いので、とても喜んでくださいますね。



楽器の形のボード下には、それぞれのアーティスト名のキャプション。バンド少年&少女にはたまらない！



立体物は小山店長がアイデアを出して、スタッフみんなで作成することが多いとのこと。

- メイワン店の特色は？

ロック系のラインナップが豊富です。特にまだキャリアが浅いアーティストやインディーズのバンドを応援するのが好きなので、積極的に目立つ場所に置いています。店作りは各店舗、各店長の裁量に任されているので、売れ筋の音楽をまんべんなく集めるというよりは、店長のいいと思ったもの、聴いてほしいと思ったものを前面に押し出すよ



入ってすぐ、店内中央の島は、小山店長リコメンドのコーナー。音楽が好きなのが選んだ、というのが一目で伝わってくる心憎いラインナップ。

うにしています。それは曲げられないポリシーですね。

また、店内でライブやサイン会、握手会などのイベントを実施しています。什器を片付けてステージを設置すると、100人くらいは入るんですよ。9月はアーティストを招いて、握手会を実施しました。10月も、店内でミニライブを予定しています。過去には

店内ライブの様態を撮影した映像を、イケヤオリジナルの特典とするなどのサービスも行ったことがあります。



応援メッセージノート。集めたメッセージはバンドへ贈られる。



ジャンルごと、アーティストごとの細かいインデックスに加え、「大人の音楽」などのコーナー分けも。

- 最後に、メイワン店イチオシのアーティスト・作品のご紹介をお願い致します。

ロックであれば浜松出身の「小林太郎」くんですね。それから、浜松出身の3人組 HIP-HOPユニット「Jam9」は、レコード会社との契約の際に、浜松在住を条件にしたと言われているほど、地元愛が強いユニットです。また、こちらも浜松出身のガールズユニット「CLEEM」ですね。かっこいい女の子たちですよ。Jam9、CLEEMがともに所属している、浜松発のレーベル「united music」とイケヤは付き合いが深く、ライブ会場とイケヤ限定のCDを出すなどのコラボレーションを行っています。



イケヤ挙げて応援するJam9、CLEEMはどちらも浜松出身のユニット

そしてメイワン店挙げて応援するのは、男性3ピースバンド「忘れらんねえよ」。デビュー以来、試聴機から外したことはありません。また、女性3ピースバンド「SHISHAMO」も大ブッシュしています。お立ち寄りの際はぜひ手に取っていただければと思います。



浜松メイワン店は、小山店長のロック愛にあふれていた

Introduction

浜松市楽器博物館

浜松市楽器博物館は1995年4月、日本初の公立の楽器博物館として開館。世界の楽器、さらには楽器から生み出される音楽を通して、それぞれの地域と時代に生きる人々の文化、人と楽器、人と音楽の絆を紹介する。

常設展では、日本、アジア、オセアニア、アフリカ、アメリカ、ヨーロッパなど世界各地の楽器、約1,300点を展示。その他特別展、企画展やレクチャーコンサート、各種講座やワークショップにとどまらず、所蔵楽器を演奏したCD・DVDの制作など多彩な活動を行っている。

◆ 常設展

1階とB1階の4つの展示室では、地域別に約1,300点の楽器がずらりと並び、見たこともないような各地のユニークな楽器に、「これはどんな音?」とわくわくすること間違いなし。ヘッドフォンやモニター、個別イヤホンガイドで音色や説明、演奏風景の映像を楽しむことができる。

- 01 世界最大の竹製ガムラン「ジェゴグ」。バリ島西部のヌガラ地方を中心に演じられていたが、現在はその魅力が他地域へ伝わり、演奏の輪が広がっている。
- 02 インドの弦楽器「ヴィーナ」。孔雀はインドの女神の乗り物とされ、よくインド楽器のモチーフになっている。
- 03 巨大な玉ねぎのような形が特徴的な、インドネシアの弦楽器「ササンド」。中心に据えられた竹筒に10本のスチール弦を張り、ヤシの葉で共鳴室を作っている。
- 04 金色の仏像がまぶしい、タイの打楽器「コーン・モーン」。カーブした木枠の中に、小型の銅鑼が多数収まっている。葬儀の際に用いられることが多い。
- 05 ナイジェリア「デムクディム」は大きなひょうたんを2つ重ねた、人の背丈ほどもある大型の葬儀用の太鼓。現在では製作されておらず入手不可能であり、大変貴重。
- 06 彫金や絵がほどこされ、燭台も備えられた絢爛豪華なピアノ。18～19世紀の鍵盤楽器は、単なる楽器だけではなく、装飾的な家具の役割も担っていた。
- 07 メキシコの太鼓「ウエウエル」は三本脚が特徴。アステカ文明が栄えていた16世紀頃から先住民の間で使用されていた。色鮮やかな色彩が目立つ。
- 08 大きなシャワーヘッドのような形をした「ルーラ」は青銅製のホルン。肩に上げられるように、管がくるりとした円環状になっている。
- 09 ヤマハのエレキギター、左からSG-3、SG-7、SG-12S（複製モデル）。加山雄三「若大将シリーズ」で使用されるなど、昭和30～40年代のエレキブームを牽引した名器。

◆ ガラリートーク

毎日数回、テーマを変え、多数の展示品の中から選ばれた一つの楽器について、約10分の解説が行われる。取材当日はモンゴルの弦楽器「馬頭琴」に関する解説と、職員の方による実際の演奏を聴くことができた。

モンゴルの遊牧民にとって、馬は単なる移動手段にとどまらず、人間にとって良き友であった。モンゴルの民話『スーホの白い馬』は、遊牧民の少年・スーホと、彼が大切に飼っていた白い馬との物語であり、小学校の教科書などを通じて日本でも広く知られている。この話のあらすじは、スーホが大事にしていた馬が死んでしまい、馬を悼んで亡骸から馬頭琴を作るといったものであるが、モンゴルの民話には、こうした筋の話が『スーホの白い馬』以外にも多く存在するという。馬頭琴は、遊牧民と馬の密接な関係を物語る楽器と言える。

馬頭琴は2本の弦を弓でこすって音を奏でる。弦や弓は、馬の尾の毛を束ねたものを用いる。本体の共鳴箱や棹の部分は木製だが、旧来は馬をはじめとした動物の皮革が張られることもあった。弦と棹との距離がギターなどと違って離れているため、上からではなく、横から弦を押さえる。

大草原に響き渡るような、伸びやかで奥行きのある美しい音色が魅力の楽器である。

◆ 体験ルーム

世界の楽器や音具、おもちゃを自由に演奏できるコーナー。大人も子どもも一緒に楽しめる。



馬頭琴といってもヘッドの彫刻は馬だけではなく、鳥や猿、龍のような想像上の生物がデザインされたものも。

浜松市楽器博物館 静岡県浜松市中区中央3-9-1

○ JR東海道本線・東海道新幹線「浜松駅」北口より徒歩10分

○ 東名浜松I.C.・浜松西I.C.・新東名浜北I.C.より車で30分

開館時間：9:30～17:00

休館日：毎月第2・4水曜日（祝日の場合は翌日、8月は無休）、
12/29～1/3、施設点検日、その他臨時休館日

入館料（常設展）：大人400円、高校生200円、
中学生以下・70歳以上・障がい者 無料 ※一般料金。団体割引制度あり。



Interview

フリーアナウンサー 今村 政司 氏



SBS Radio〔静岡放送〕では毎週日曜日の午後10時より、ジャズの名曲・名演を紹介する「インビテーション・トゥ・ジャズ」を放送している。この番組の企画・制作・構成・出演を一人でこなしているのが、フリーアナウンサー（元SBSアナウンサー）の今村政司氏。38年の長きにわたり、同番組に取り組んできた今村氏に、番組作りへの思い、忘れられないエピソード、静岡に育つジャズ文化などについて語っていただいた。

音楽に生きる人たちの、真摯な姿を届けたい ～ SBS Radio「インビテーション・トゥ・ジャズ」～

38年目を迎えた長寿番組

ジャズは兄の影響で聴き始めました。ベニー・グッドマンなどに親しみ、中学の時に『ジャズの事典』（著：河野隆次）を購入して、片っ端からラジオにリクエストし、「こんな曲なんだ」と楽しんだものです。

静岡放送に入社後は、ラジオの歌謡番組を担当しながら、地元のジャズフェスティバルの司会をやるなど、ジャズ関連の催しに顔を出していました。そこで、グランドホテル浜松で行われるジャズライブを月一回放送するから、担当しないかと営業部長から声が掛かったんです。こうした幸運な巡り合いから、1977年10月8日、番組がスタートしました。月一回はグランドホテル浜松での演奏を生中継、他はスタジオ内での名盤の紹介というスタイルでした。

グランドホテル浜松は、由緒ある老舗ホテル。オーナーがジャズを好み、ジャズの生演奏が盛んで、別名ジャズバンド・ホテルと呼ばれるほどでした。ミュージシャンがジャズに打ち込む姿、彼らの最高の音楽を何とかリスナーに届けたい。その思いを大事にして、出演者のインタビューを織り交ぜながら、人と音楽の関わりに焦点を当ててきました。途中、スポンサーが付かなかったり、30分、15分番組になったりと悔しいこともありましたが、根強いファンにも支えられて、気がつけば38年という長寿番組になっていました。

名曲「Invitation」をテーマに

「インビテーション・トゥ・ジャズ」という番組名は、サラ・ヴォーンで有名な「Invitation」をテーマ曲に使用したいと考えていた時にひらめきました。主にオープニングにはチャールズ・マクファーンソンの演奏を、エンディングにはビル・エヴァンス演奏のものを据えています。また、その日のゲストのミュージシャンに「Invitation」を演奏してもらうのもお約束でした。放送のための一回限りの演奏を届けられて、有難いことです。

忘れ難いカウント・ベイシーとの出会い

1978年のことです。浜松市民会館で行われたカウント・ベイシー・オーケストラの来日公演を、当番組で放送することになり

ました。目の前に本人がいる！この状況に私は舞い上がりました。勇気を振り絞って、片言の英語で挨拶し、大事にしていたLPのジャケットにサインをもらいました。ベイシーは、まさかこんな所で自分の昔のレアなレコードに出会うとは思っていなかったのでしょう。仲間を呼んで面白そうに話をしていました。会話の詳細は分かりませんでしたが、驚いた表情、愉快そうな話しぶりは印象に残っています。

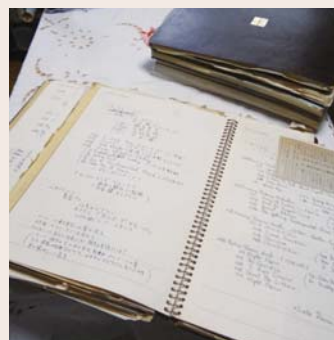
その演奏は、素晴らしいものでした。日米両国の関係者の尽力により、ベイシーの死後に「カウント・ベイシー・ライブ・イン・ジャパン '78」としてアルバム化されました。今もレコードを聴くと、あの時の情景が鮮明に目の前に浮かびます。

静岡のジャズ文化を広げていく

グランドホテル浜松の生演奏ばかりではなく、静岡全体でも音楽文化、ジャズ文化は根付いています。社会人バンドの層は厚く、中には50年以上の活動歴のあるバンドやアメリカ公演を行うバンドもあります。小中学校の音楽教育も充実していますね。私も子どもたちのコンクールに参加しますが、音楽を楽しむ子どもの姿を見るだけで、胸が熱くなります。そういう環境の中で、子どもたちは音楽への感受性を高めています。

ジャズに関しては、静岡県内各地から実力のある若手が育って巣立ち、世界を舞台に活躍しています。浜松市出身のピアニスト、上原ひろみさん、静岡市出身の歌手、ウィリアムス浩子さんらがその代表です。当番組にも出演していただき、リスナーに魅力をお伝えしてきました。

ラジオの良さはリスナーとの距離の近さ。市民講座の講師などもやるのですが、受講したリスナーから、「毎回録音しています」「『それではお聴きいただきましょう、どうぞ』の声がいい」と声を掛けてもらおうと、もっと頑張りたいと思いますね。（談）



38年に及ぶ番組の記録をつづった、貴重なノートを見せていただいた。

「映画盗撮防止キャンペーン NO MORE映画泥棒」 第4弾 CM が上映開始

「映画館に行こう！」実行委員会*が主催し、2007年より全国の映画館で展開している「映画盗撮防止キャンペーン」啓発CMが、このたびリニューアルされる。

2007年8月に施行された「映画盗撮防止法」周知を目的として展開を開始した同キャンペーンは、2010年から当協会も参加し、違法ダウンロード防止を訴えてきた。

違法ダウンロード刑事罰化の認知経路として非常に効果的である、との意見が多数寄せられる同CMは、今回のリニューアル版が第4弾。おなじみの「カメラ男」、「パトランプ男」に加え、今回は新キャラクターとして「ポップコーン男」、「ジュース男」が登場する。映像は本年10月の東京国際映画祭で初披露となり、10月31日より全国の映画館で順次公開される予定である。

また、今回の同CMリニューアルに伴い、キャンペーンポスターについてもビジュアルを一新した。当協会も「STOP!違法ダウンロード」啓発ポスターを作成し、今後新たな啓発ツールとして、様々な場所での掲示を予定しており、引き続き違法ダウンロード防止に努めていく。

※「映画館に行こう！」実行委員会

日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、外国映画輸入配給協会、モーションピクチャー・アソシエーション(MPA)の4団体で構成、“映画人口2億人”を目標に、「夫婦50割引」や「映画盗撮防止キャンペーン」など様々な施策を展開。

■ リニューアルポスター



映画盗撮防止キャンペーン用



違法ダウンロード防止
キャンペーン用

■ リニューアルCM



■ 映画盗撮防止キャンペーン <http://www.eigakan.org/legal/>

■ 映画泥棒 (こと「カメラ男」) の公式 Twitter @eigadorobo

©「映画館に行こう！」実行委員会

特 報

Special Report

「オーディオ・ホームシアター展 2014」開催 国立国会図書館「SP 盤のデジタル化音源」をブースにて紹介

10月17日から19日の3日間、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）主催、当協会などの後援による「オーディオ・ホームシアター展 2014」が東京・台場の「TIME（タイム）24」TOKYO INFORMART EXPRESS24にて開催された。

当協会は、国立国会図書館のデジタル化資料である歴史的音源を公開している専用ページ、「れきおん」サイト（<http://rekion.dl.ndl.go.jp/>）の紹介を目的として、本イベントにブースを出展した。「れきおん」サイトで公開されている音源は、1900年頃から1950年代までに生産されたSP盤の貴重なもの。これらを後世に残すため、当協会を含む音楽関係団体は音源をデジタル化し、2013年までに国立国会図書館に納品してきた。

「古（いにしえ）の音を聴いてみよう」と題したブース内には、「れきおん」サイトにて公開中の音源試聴コーナーが設けられた他、実物のSP盤の展示も行われた。

来場者の多くはオーディオファン。「れきおん」サイトを紹介するリーフレットに掲載された「おすすめ音源」を参考にしたり、来場者自身が実演家や楽曲名を入力して音源を検索する様子も見られた。ブースを通じ「れきおん」サイトの存在を初めて知ったという来場者が多く、今回の出展で、当協会を含む音楽関係団体が行ってきた、SP盤のデジタル化アーカイブ事業の文化的な意義を周知することができた。



インターンシップ実習生受け入れ

9月16日～26日の期間、当協会はインターンシップ実習生の受け入れを行った。今回で6回目となるインターンシップ受け入れは、レコード産業および当協会への理解促進を目的として立教大学の依頼を受けて実施されたものである。2週間の実習を終えた立教大学社会学部メディア社会学科3年の松浦勇希さんよりコメントをいただいた。

7日間、大変お世話になりました。私は初日の挨拶で、「CDが売れなくなってきている状況を変えたい」と社員の方々にお伝えしました。学生の分際でなぜそんなことをしてしまったのか、と少し後悔してしまいましたが、今もその思いは変わりません。

しかし、音楽業界について勉強をするうちに、CDセールスを増やすことだけではなく、よい音楽を、より多くの人々に届けるためにはどうすればいいかと考えるようになりました。「よい音楽」とはアーティストたちが時間とお金と魂をかけて作り上げた作品のことだと私は考えています。それが正しい方法で聴く人に届かなければ、アーティストは活動ができません。また、ビクターさんのような立派なスタジオの運営もできなくなる可能性もあります。これらを守るためにもレコード協会さんの活動は欠かせないと考えております。そして、華やかなイメージのある音楽業界の裏で活躍する人々の姿を、もっと私たちは知るべきだと思いました。どうしてもアーティストの活動や大きなイベントなど表に現れたことに目が行きがちです。しかし、それらが行われるまでにどれくらいの人々が、どんな仕事をしているのかを知ろうとすることが、社会に出る上で必要な考え方なのではないかと思いました。

これからは音楽業界も視野に入れて就職を考えていきたいと思っています。普段の学校生活やアルバイトでは学べないことを、今回のインターンシップで学ぶことができました。この経験を将来に生かせるように精進してまいります。ありがとうございました。

第7回

ヒットの裏側

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

自分が楽しんだ分だけ、捧げられたものがあった

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
CP グループ ゼネラルマネージャー 兼 CP ワークス チーフプロデューサー
河合 誠一 マイケル（かわい・せいいち・まいける）氏



❖ スピリットはプレイヤー

小学2年生からドラムを叩いてきた僕は、最初はCBS ソニー（現ソニー・ミュージックエンタテインメント）とはミュージシャンとして契約していました。その後、社員として制作を志したのは、より広いジャンルの音楽に関わりたかったから。それまで幅広く音楽を聴いていましたが、ドラムはメロディーやコードがなく、プレイする音楽ジャンルに限られる。アレンジや全体的な演出に興味も沸き、ドラムの技を究めるより、「こういうスタイルは？」という発想や提案を形にする作業がすごく好きで、スピリットはプレイヤーのまま、それが仕事になりました。

❖ 「普通の女の子のロック」を目指したプリンセス・プリンセス

僕はフランク・ザッパのような、狂気と知性が一緒になったスリルのある人が好きで、邦楽ロックはなじみがなかったんです。当時の日本のガールズバンドはややダークで、ファン層が限られたイメージがありました。だから、プリンセス・プリンセスと出会い、万人受けするスタンダードなロックバンドにしようと考えました。ジーンズにTシャツでいいじゃん、普通の格好をした女の子で健康的にいこう、とね。スタートから、麗しくまじめなプロジェクトでした。

プリンセス・プリンセスの一番の魅力は、楽曲ですね。ボーカルの岸谷香（旧姓・奥居）はカーペンターズ等のポップス志向がある一方、ギターの中山加奈子は、ストーンズ等のロックが好き。違う志向がどう折り合うかで、バンドのキャラクターができていく。そんな制約の中で突き詰めたからこそ、いい曲ができていったんじゃないかな。これはバンドだからこそその賜物。A面の1曲目を何にするかで一晩中喧嘩もしばしば、エネルギーに満ちた現場でした。『Diamonds』の仮タイトルは『お年玉』だったんです。岸谷が正月の晴やかな気分を曲にしたんですが、最初聴いた時はモータウンみたいだなと思った。中山の詞も個性的で、どう形にすべきか皆で苦しみました。手塩にかけたぶん大好きな曲になりました。ひたむきに取り組んでいるとスタジオの中では、あり得ないような奇跡的な瞬間が訪れるんです。それが本当に楽しかったですね。

❖ まっさらなキャンバスだったユニコーン

ユニコーンとはオーディションを通じて出会いましたが、演奏が抜群にうまかった。まっさらなキャンバスを見つけたような気持ちでしたね。最初は王道のマイナーキーの楽曲をメインにやっていたんです。でもリーダーの奥田民生は本来ビートルズが好きだった。僕が、ギルバート・オサリバンやXTCなど聴かせるうちに、だんだん目覚めて、あるライブをきっかけにバンドの方向性が様変わりしました。そのライブは、ステージで思い切り転んだり、キーボードの汗をボリューム最大のまま拭いたり、ハプニング続出。ところがそれを、オーディエンスも大笑いで楽しんでいる。そんな雰囲気バンドによく似合うこと、事故でさえ笑い飛ばせることが本人たちも、僕らもわかったんです。そこからはもう止まらなくなりました。「面白いことをやろう」を基本にアルバムづくりに必死でした。河口湖スタジオでは、スタジオに入らず、樹海の前で演奏しました。やり直しの時は虫の声を待ったり、サビの部分で雲間からすーっと日が差して、何とも言えない気分になったり…。「夜中にたき火を囲んで」「7時に起床して朝の光の中で」とバージョン違いで同じ曲を演奏しニュアンスの違いを出してみたりなど、実験を楽しみましたね。

❖ 自分の色を作品に入れる楽しみ

二つの異なる性格のバンドが育っていったわけですが、僕が楽しんだ分だけ、捧げられたものも多かったんじゃないかな。レコード会社の制作担当じゃなくて、一ミュージシャンとして入っていった。売れる、売れないは後にして、いいものをつくるために本気で言ってきた。それを分かってもらえて、一緒に作ってきた感があります。ディレクターの醍醐味は、やはり作品の中に自分の匂いを込められるところ。「俺がいなかったらこうならないよ」というようにやりたいですね。

僕は、一日でもスタジオに行かなかったら発言力はなくなるという思いで徹底的に現場に関わり、楽しんできた。音楽自体も変わり、制作現場も仕事の内容も変わる中、僕みたいな仕事の仕方はもうできないかもしれません。でも本来、音楽は遊びです。遊びが仕事なのだから、精一杯楽しんでもいいじゃないかと思っています。（談）

担当アーティスト

○ T-SQUARE、ユニコーン、プリンセス・プリンセス、ピチカート・ファイヴ、PUFFY、大滝詠一など多数

Monthly Production Report

2014年9月度レコード生産実績

9月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比 83%の 1,606 万枚・巻、金額で同 76%の 172 億円となった。内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比 88%の 1,303 万枚・巻、金額で同 81%の 132 億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比 69%の 303 万枚・巻、金額で同 63%の 40 億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			9 月実績						2014 年 1 月～2014 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
シ	8cmCD	邦	1	0	140%	1	0	138%	20	0	53%	14	0	75%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	32%	0	0	44%
		計	1	0	140%	1	0	138%	21	0	53%	14	0	74%
ン	12cmCD	邦	3,642	28	105%	2,757	21	108%	40,230	32	91%	29,803	22	96%
		洋	3	0	8%	3	0	15%	612	0	104%	401	0	93%
		計	3,645	28	103%	2,760	21	108%	40,842	32	91%	30,204	22	96%
グ	小計	邦	3,643	28	105%	2,758	21	108%	40,250	32	91%	29,817	22	96%
		洋	3	0	8%	3	0	15%	612	0	104%	401	0	93%
		計	3,647	28	103%	2,761	21	108%	40,862	32	91%	30,218	22	96%
ル	12cmCD アルバム	邦	6,439	49	80%	7,807	59	73%	60,725	48	84%	82,522	61	90%
		洋	2,750	21	89%	2,426	18	83%	23,182	18	105%	21,678	16	106%
		計	9,189	71	82%	10,232	77	76%	83,907	67	89%	104,200	77	93%
CD 合計		邦	10,083	77	87%	10,565	80	80%	100,976	80	87%	112,339	83	91%
		洋	2,753	21	88%	2,428	18	83%	23,793	19	105%	22,079	16	106%
		計	12,836	99	87%	12,993	98	81%	124,769	99	90%	134,418	99	93%
アナログ ディスク		邦	27	0	954%	39	0	1528%	108	0	130%	187	0	144%
		洋	12	0	150%	20	0	157%	134	0	156%	232	0	171%
		計	39	0	360%	59	0	390%	242	0	143%	419	0	158%
カセット テープ		邦	120	1	103%	110	1	102%	842	1	79%	700	1	81%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	44%	0	0	60%
		計	120	1	103%	110	1	102%	842	1	79%	701	1	81%
その他		邦	19	0	301%	15	0	158%	165	0	143%	205	0	135%
		洋	13	0	31%	30	0	74%	143	0	77%	314	0	97%
		計	32	0	65%	45	0	90%	308	0	102%	519	0	109%
合 計		邦	10,248	79	88%	10,729	81	81%	102,091	81	87%	113,431	83	91%
		洋	2,778	21	87%	2,478	19	83%	24,070	19	105%	22,625	17	106%
		計	13,027	100	88%	13,207	100	81%	126,161	100	90%	136,056	100	93%

● 音楽ビデオ

		9 月実績						2014 年 1 月～2014 年 9 月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	2,565	85	74%	2,630	66	66%	33,009	85	93%	35,648	72	95%
	洋	140	5	131%	151	4	109%	1,345	3	82%	1,471	3	82%
	計	2,704	89	76%	2,781	70	68%	34,354	88	92%	37,118	74	94%
Blu-ray Disc	邦	312	10	39%	1,173	29	55%	4,400	11	121%	12,393	25	113%
	洋	15	0	66%	41	1	61%	113	0	61%	326	1	59%
	計	326	11	39%	1,214	30	55%	4,513	12	118%	12,719	26	111%
テープ・その他		0	0	0%	0	0	0%	1	0	45%	3	0	45%
合 計	邦	2,877	95	67%	3,803	95	62%	37,411	96	95%	48,044	96	99%
	洋	154	5	120%	192	5	93%	1,458	4	80%	1,797	4	77%
	計	3,031	100	69%	3,995	100	63%	38,869	100	95%	49,840	100	98%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			9 月実績						2014 年 1 月～2014 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			13,027	81	88%	13,207	77	81%	126,161	76	90%	136,056	73	93%
音楽ビデオ			3,031	19	69%	3,995	23	63%	38,869	24	95%	49,840	27	98%
合 計	邦		13,125	82	82%	14,532	84	75%	139,501	85	89%	161,475	87	93%
		洋	2,933	18	89%	2,670	16	84%	25,528	15	103%	24,422	13	103%
		計	16,057	100	83%	17,202	100	76%	165,029	100	91%	185,896	100	94%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			9 月実績						2014 年 1 月～2014 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD			5,767	78	85%	8,574	65	77%	58,895	79	90%	86,470	67	92%
テープ・その他			1,663	22	83%	4,657	35	71%	15,762	21	96%	43,405	33	88%
合 計			7,430	100	85%	13,231	100	75%	74,658	100	91%	129,874	100	91%

● オーディオ/ビデオ合計

			9 月実績						2014 年 1 月～2014 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			13,027	64	88%	13,207	50	81%	126,161	63	90%	136,056	51	93%
ビ デ オ			7,430	36	85%	13,231	50	75%	74,658	37	91%	129,874	49	91%
合 計			20,456	100	86%	26,438	100	78%	200,819	100	90%	265,930	100	92%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

音楽ソフト

邦 楽

アルバム

● プラチナ

Mr.S	SMAP	2014.09.03	V
TRAD	竹内 まりや	2014.09.10	WJ

● ゴールド

オールタイム・ベスト・オリジナル・ONE	中森 明菜	2014.08.06	UM
MAN WITH A MISSION	ファンキー加藤	2014.09.03	DRM
歌謡紀行V～熊野古道～	MAN WITH A MISSION	2011.06.08	CR
水森かおり全曲集～釧路湿原	水森 かおり	2006.09.27	TJC
水森かおり全曲集～鳥取砂丘	水森 かおり	2004.10.27	TJC
	水森 かおり	2003.10.22	TJC

シングル

● ダブル・プラチナ

不器用太陽	SKE48	2014.07.30	AMC
-------	-------	------------	-----

● プラチナ

控えめI love you!	HKT48	2014.09.24	UM
----------------	-------	------------	----

● ゴールド

東京VICTORY	サザンオールスターズ	2014.09.10	V
ミダレテミナ	2PM	2014.09.17	SML
ウィークエンダー／明日へのYELL	Hey! Say! JUMP	2014.09.03	JA
Mighty Long Fall / Decision	ONE OK ROCK	2014.07.30	ASI

認定基準一覧

音楽ソフト（邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ）、音楽配信（着うた®、シングルトラック、アルバム）共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AMC**: エイベックス・ミュージック・クリエイティブ／**ASI**: A-Sketch／**CR**: 日本クラウン／**DRM**: ドリーミュージック／**JA**: ジェイ・ストーム／**K**: キングレコード／**PC**: ポニーキャニオン／**SML**: ソニー・ミュージックレーベルズ／**TJC**: 徳間ジャパンコミュニケーションズ／**UM**: ユニバーサルミュージック／**V**: ビクターエンタテインメント／**WJ**: ワーナーミュージック・ジャパン

洋 楽

アルバム

● プラチナ

ミッドナイト・メモリーズ	ワン・ダイレクション	2013.11.27	SML
--------------	------------	------------	-----

● ゴールド

マイ・エヴリシング	アリアナ・グランデ	2014.08.27	UM
のだめカンタービレ ベスト100	ヴァリアス	2006.12.13	SML
TERRACE HOUSE TUNES	V.A	2014.05.21	UM
ブラネット・ビット	ビットブル	2011.08.03	SML

※日付は発売日

有料音楽配信

「シングルトラック」

邦 楽

● ミリオン

Beautiful World	宇多田 ヒカル	2007.08.29	UM
-----------------	---------	------------	----

● ダブル・プラチナ

サラバ、愛しき悲しみたちよ	ももいろクローバーZ	2012.11.21	K
---------------	------------	------------	---

● プラチナ

にじいろ	絢香	2014.04.28	AMC
3090 ～愛のうた～	LGMonkees	2011.10.26	SML
Darling	西野 カナ	2014.08.13	SML

● ゴールド

IGNITE	藍井 エイル	2014.08.20	SML
Precious Love	EXILE ATSUSHI	2014.07.02	AMC
ラブラドル・レトリバー	AKB48	2014.05.07	K
永遠に	ゴスペラーズ	2004.02.26	SML
ラストシーン	JUJU	2014.09.09	SML
そして僕にできるコト	day after tomorrow	2004.08.25	AMC
ようかい体操第一	Dream5	2014.04.23	AMC
ひまわりの約束	秦 基博	2014.08.06	SML
日々	吉田山田	2013.12.18	PC
CHASE	L'Arc ～ en ～ Ciel	2011.12.14	SML

洋 楽

● プラチナ

スターシップス	ニッキー・ミナージュ	2012.04.11	UM
---------	------------	------------	----

● ゴールド

シェイプ・オブ・マイ・ハート	スティング	2008.10.01	UM
ドント・ストップ・ザ・パーティー feat. TJR	ビットブル	2012.10.24	SML
ビッグ・ガールズ・ドント・クライ	ファーギー	2006.10.18	UM

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

当協会は、昨年度スタートした、海外向け日本音楽プロモーション事業「J-Music LAB (ジェイ・ミュージックラボ)」を「J-LOP」(*)の助成を受け、今年度も継続・強化して展開する予定です。今年度第二弾は、インドネシア・ジャカルタで人気のイベント「Hai Day」にて実施いたします。



「Hai Day」は現地で人気の雑誌「Hai magazine」が主催するもので、2日間でのべ約6万人の集客を見込む大規模なイベントです。この度、日本からは6組のアーティストが出演し、メインステージでパフォーマンスを行う予定です。また、会場特設ブースにて日本のCD販売・ブース内イベントを行う他、「Hai magazine」を中心としたメディア露出を行う予定です。概要は以下のとおりです。

【イベント名】J-Music LAB 2014 in Hai Day

【企画】一般社団法人日本レコード協会 (RIAJ)

【協力】一般財団法人音楽産業・文化振興財団 (PROMIC) 他

【期間】平成26年11月8日 (土)・9日 (日)

【場所】インドネシア・ジャカルタ市 スナヤン東駐車場 (イベント「Hai Day」内)

【出演アーティスト】

11月8日 (土) AMIAYA、TarO&JirO、Dorothy Little Happy

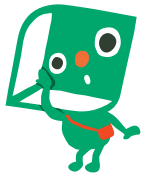
11月9日 (日) I DON'T LIKE MONDAYs.、藍井エイル、Cynthia

【イベントオフィシャルサイト】

Hai Day <http://www.haiday2014.com/>

J-Music LAB (Facebook) <https://www.facebook.com/jmusiclab>

※「J-LOP」とは、「ジャパン・コンテンツ ローカライズ&プロモーション支援助成金」で、日本のコンテンツの海外展開に必要な「ローカライズ」(字幕や吹替えなど)や「プロモーション」(国際見本市への出展やPRイベント実施など)への支援等、海外発信に対する総合的な支援を実施することにより、日本ブーム創出に伴う関連産業の海外展開の拡大、観光等の促進につなげることを目的としています。



エルマークキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.660 2014年11月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2014年11月14日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今回の静岡取材で、心に残ったのは県西部の方言「やらまいか(=やってみよう、やろうじゃないか)」。チャレンジ精神が尊ばれている風土なのだと感じました。先日、青色LEDの発明でノーベル物理学賞を受賞された赤崎教授は松下電器時代に、松下幸之助氏から「やってみなはれ」と。中村教授も、日亜化学工業の創業者から「やりなはれ」と、それぞれ声を掛けられたとのこと。「信念を持ち、方針さえ間違えなければ必ずできる。あきらめないこと」と浜松市出身の天野教授は、若い研究者の背中を押していました。誰もが不可能と思うことにチャレンジし、粘り強く情熱を注ぐ。世界を変えるのは、そうしたやらまいか精神なのだと思います。(M)